

授業科目(ナンバリング)	認知症の理解 I (DA215) (実践的教育科目)			担当教員	中村 龍文・石橋 亜矢 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授 業 の ね ら い							アクティブ・ ラーニング の 類 型
<p>認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識を習得する。</p> <p>認知症に関する基礎的な知識を習得するとともに、実務経験をもとに認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなどを通して、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>この演習を通し、それらを様々な課題に適用して解決を図ることができることをねらいとする。</p>							①⑨⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	福祉職として必要な認知症の知識を身につける。 認知症のケアの歴史や理念を含む、認知症を取り巻く社会的環境について理解することができる。				定期試験 プレゼンテーション	50% 10%	
情報収集、 分析力	認知症の人の生活及び家族や社会との関わりへの影響を理解し、その人の特性を踏まえたアセスメントを行うことができる。				プレゼンテーション 課題レポート	10% 5%	
コミュニケーション力	認知症の病態を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を理解することができる。				グループワーク	10%	
協働・課題解決力	認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、多職種連携・協働による支援の基礎的な知識を理解することができる。				授業態度・授業への参加 課題レポート	10% 5%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>「定期試験」(50%)は、合格基準は60点以上とし筆記試験(持ち込み不可)を行う。「課題レポート」(10%)は、授業内での課題をレポート化し、提出後フィードバックにて学生と共有する。「授業態度・授業への参加」(10%)は、授業中の態度、熱意、質問に対する返答の仕方等をフィードバックをし評価する。グループワーク(10%)では、自分の意見をまとめ、PPを作成しグループでプレゼンテーション(20%)を行う。各教員が100点で評価し、授業回数で配分して最終評価を出す。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>医療現場で医師の経験を持つ教員と看護師・認知症ケア専門士・介護支援専門員の経験をもつ教員が担当し、現場実践を活かした学修を行う。認知症に関する基礎知識を学ぶ。認知症の医学的な病態、診断、最新の治療法から、認知症の原因となる病気や症状の特徴について学ぶ。認知症の人の現状や今後の推移、施策等とともに認知症ケアの変遷についても学んでいく。前半No.1～10の10コマを中村、No.11～15の5コマを石橋が担当する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：新・介護福祉士養成講座12『認知症の理解』 中央法規 発行者：荘村明彦 参考書：『ぜんぶわかる 人体解剖図』成美堂出版 指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック2018上 中央法規</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<p>認知症の人への対応やケアは、認知症の増悪、症状の改善に影響する。そのためにも、認知症を正しく理解し、その症状や行動について、認知症の人主体に考えていって欲しい。</p> <p>注意点：講義中の私語、携帯電話の使用は禁止とし他者に迷惑をかけること。また欠席の場合は事前連絡を行うこと。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解①</u>	認知症とは何か、認知症の概念について学ぶ。(中村)	認知症の概念の復習。 次回テーマの予習。
2	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解②</u>	認知症と間違えられやすい症状として、健忘、うつ病やせん妄について学ぶ。(中村)	健忘、うつ病、せん妄の復習。認知症の診断の予習。
3	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解③</u>	認知症の診断について学ぶ。(中村)	認知症の診断の復習。主な疾患の予習。
4	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解④</u>	認知症の原因となる主な病気として、アルツハイマー病、脳血管性疾患について、その症状の特徴を学ぶ。(中村)	認知症の原因疾患の復習。 その他の主な疾患の予習。
5	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解⑤</u>	認知症の原因となる主な病気として、レビー小体病、ピック病、その他の疾患とその症状の特徴について学ぶ。(中村)	認知症の原因疾患の復習。 次回テーマの予習。
6	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解⑥</u>	認知症の行動・心理症状の治療として、身体疾患の検討に関して学ぶ。(中村)	認知症の行動・心理症状の復習。次回テーマの予習。
7	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解⑦</u>	認知症の行動・心理症状の治療として、向精神薬療法について学ぶ。(中村)	向精神薬法の復習。次回テーマの予習。
8	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解⑧</u>	認知症の評価スケールについて学ぶ。(中村)	評価スケールの復習。 認知症の予防の予習。
9	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解⑨</u>	認知症の予防としての生活習慣病の早期治療について学ぶ。(中村)	生活習慣病の早期治療の復習。認知症の予防の予習。
10	<u>医学的・心理的側面から見た認知症の基礎的理解⑩</u>	認知症の予防として、運動、生活の改善について学ぶ。(中村)	認知症の予防についての復習。次回テーマの予習。
11	<u>認知症に伴う生活への影響と認知症ケア①</u>	認知機能の変化が、本人の生活にどのような影響を及ぼすのかを学ぶ。(石橋)	予習：認知症の人をどのように理解するのか調べる 復習：認知症が生活にどう影響するかをレポート
12	<u>認知症に伴う生活への影響と認知症ケア②</u>	認知症の症状と環境との関係を学ぶ。(石橋)	予習：認知症の基本症状を調べる 復習：認知症の基本症状を整理する
13	<u>認知症に伴う生活への影響と認知症ケア③</u>	認知症になってもこれまでの生活を続けるために必要な事柄を学ぶ。(石橋)	予習：認知症の事例を調べる 復習：事例を整理する
14	<u>認知症に伴う生活への影響と認知症ケア④</u>	認知症による急激な環境の変化を和らげる支援を学ぶ。認知症状状についてプレゼンを行う。(石橋)	予習：認知症のライフサポートについて調べる 復習：ライフサポートについて整理する
15	<u>認知症に伴う生活への影響と認知症ケア⑤</u>	DVD「恍惚の人」を視聴し認知症を取り巻く人の気持ちを理解する。 定期試験の説明を行う。(石橋)	復習：DVDの感想をレポートする。教科書やノートを確認し定期試験に備える